

EPS工法〈ダウ加工(株)〉

EPS工法を支える、高強度発泡スチロールブロック ライトフィルブロック



■ 特長・ポイント

EPS工法は、発泡スチロールを軟弱地盤上の盛土や擁壁裏込めに用いることで、構造物の超軽量化や土圧軽減を可能にした画期的な土木工法です。発泡スチロールの重量は土砂の1/100で、耐圧、耐水性に優れた材料です。ダウ加工はこの優れた材料特性に着目して、日本で最初に橋梁取付道路盛土にライトフィルブロックを施工し、従来工法に比較して、工期短縮や経済的構造設計などトータルコスト削減に大きな効果をあげました。

経済性

●工事短縮、用地節約、土止め工事や仮設工事の削減など、トータル工費削減に大きな効果があります。

施工性

●ライトフィルブロックの施工に重機は不要です。軟弱地盤上や急斜面地、隘路でも人力による急速施工が可能です。現場加工も簡単です。

軽量化

●ライトフィルブロックの重量は土砂やコンクリートの1/100で人力による運搬が容易です。

自立性

●ライトフィルブロックは、積み上げるとコンクリートのように自立しますので直立壁として設計可能です。

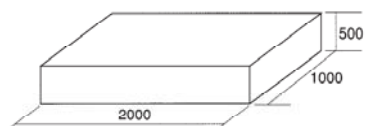
耐水性

●ライトフィルブロックは、素材がポリエスチレンで、独立気泡構造ですから、吸水しにくく、耐久性に優れています。

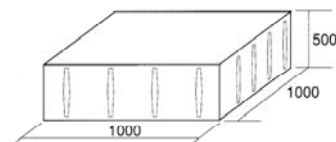
ライトフィルブロックの形状(単位:mm)

●製品寸法図

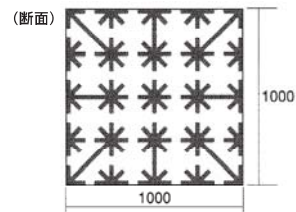
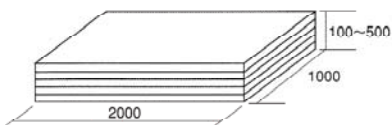
■Dタイプ(型内法)



■LV-60(型内法)



■DXタイプ(押出法)



施工事例

擁壁裏込め

施工場所: 富山県



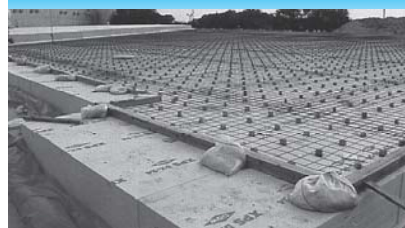
橋台背面

施工場所: 埼玉県



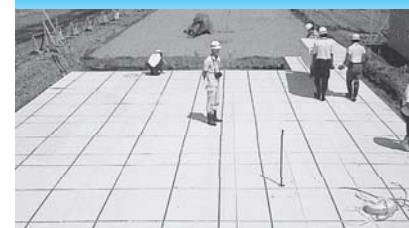
橋台背面・沈下対策

施工場所: 愛知県



橋の取付道

施工場所: 北海道



※1985年施工時

橋梁歩道部高上げ

施工場所: 大阪府



橋梁車道部高上げ

施工場所: 山口県

